

ゲノム編集とデザイナー・ベビー ～ヒトの遺伝子操作が現実～

講師 中山 潤一（基礎生物学研究所クロマチン制御研究部門教授）

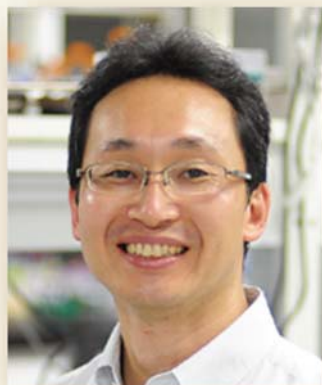
私たちは生まれてくる子供に何を望むでしょうか？ 優れた容姿、高い知性や身体能力でしょうか？ あるいは家族に遺伝性の疾患があることが分かった場合、将来の家族のためにそれを改善したいと思うかもしれません。デザイナー・ベビーとは、遺伝子操作技術によって親の意向を反映してつくられる赤ちゃんのことです。これまで技術的な問題によって、デザイナー・ベビーをつくり出すことは不可能だと思われてきました。しかし、ゲノム編集という技術の発明によってその状況は変わりつつあります。ゲノム編集は画期的な技術であり、広い分野での応用が期待されています。一方、この技術をヒトの遺伝子操作に使うにはまだまだ解決すべき技術的、倫理的な問題があります。最近注目されるゲノム編集という技術について紹介し、それをヒトの遺伝子操作に応用することがなぜ危険なのか一緒に考えてみたいと思います。

日時 2018年 9月 8日(土) 13:30 ~ 17:30

場所 関西セミナーハウス TEL.075-711-2115 ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300 円 学生 1,000 円 (コーヒー込み)

要申込み 9月5日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込みください。



中山 潤一 なかやまじゅんいち

1971年東京都に生まれる。東京工業大学大学院生命理工学研究科卒、博士(理学)、米国コールドスプリングハーバー研究所博士研究員、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター・チームリーダー、名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科教授などを経て、2016年から基礎生物学研究所クロマチン制御研究部門教授。研究テーマは、クロマチンの動的構造変換による遺伝子発現制御機構など。平成22年度文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞。最近の訳書として、『エピジェネティクス革命-世代を超える遺伝子の記憶』（ネッサ・キャリー著、2015年丸善出版）、『ジャンクDNA-ヒトゲノムの98%はガラクタなのか？』（ネッサ・キャリー著、2016年丸善出版）、『デザイナー・ベビー-ゲノム編集によって迫られる選択』（ポール・ノフラー著、2017年丸善出版）がある。

◎スケジュール◎

- 13:30～15:00 発題講演
 15:00～15:30 コーヒーブレイク
 15:30～17:30 質疑とはなしあい



2018年度 修学院フォーラム

- いのち** 第1回第1回 7月7日(土)
 <老いの日をいかに生き、支えるか 第2回>
 「往きの医療 vs 還りの医療— わたしたちはどんな死に方をしたいのか?」
 講師：島田 宗洋 (救世軍清瀬病院名誉院長)
- 社会** 第3回 6月30日(土)
 「民族主義と普遍主義のはざままで：旧約聖書から国際平和を考える」
 講師：月本 昭男 (上智大学特任教授)
- 第4回 10月6日(土) 宗教と戦争を考える〈6〉
 「宗教改革者の戦争観」
 講師：村上 みか (同志社大学神学部教授)
- 第5回 12月1日(土)
 「武器で日本を守れるか?」
 講師：岩佐 英夫 (弁護士)
- 福祉** 第2回 2019年2月16日(土)
 「山室軍平って知っていますか—新島襄の福祉思想と「良心」の系譜」
 講師：木原 活信 (同志社大学社会学部教授)



【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
<http://www.academy-kansai.org>
 電話 075-711-2117
 FAX 075-701-5256
 電子メール office@academy-kansai.org
 所長代行 榎本 栄次
 担当 都木 (とき)

【会場へのアクセス】



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

—————2018年度 修学院フォーラム「いのち」第2回 参加申込書—————

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 ()	FAX ()
電子メール :	@
通信欄 :	